

発行所 北海道苫小牧市役所
編集発行人 伊藤一男
昭和28年6月28日
第三種郵便物認可

14日、臨時市議会

第3回臨時市議会は、14日午後1時から開かれます。上程されるのは苫小牧市契約条例による契約など報告4件と陳情2件(①石炭共同貯炭場用地あっせん依頼 ②公務員住宅確保ならびに固定化)となっております。

市政展近づきました

十五日か 写真、模型、年表など展示
ら東小で

開港、開基九十周年、市制十五周年を記念する第八回港まつりの多彩な行事は、十五日から一週間、にぎやかにくりひろげられますが、市ではこの記念行事の一つとして十五日から十九日まで(午前九時から午後八時まで)東小屋体で市政展示会を行います。

花火大会に臨時バス

十七日の夜、港で行なわれる花火大会の会場行き臨時バスをつきのとおり運行します。

この展示会には、二十六年の苫小牧港の起工式当時の写真をはじめ、その後本年まで毎年の築港工事進捗の状況をうつした記録写真、本年四月の入船式いらい入港した石炭専用船舶の写真、苫小牧臨海工業地帯造成計画図、アイソトープの実験器具

なお、花火大会終了後、つきの郊外行きバスを運行します。

市民こそって郷土の記念日を祝いましょう



大町道宮住宅屋上から東方の国道36号線(大通り)を臨む。(前方左側)5階ビルはホテルトマコマイ

港祭り協賛行事のNHKテレビ番組「それは私です」が、二十一日娯楽場から全国中継放送されますが、入場方法は混雑を防ぐために整理券(入場料無料)をつきのとおり発行いたしますから、ご了承ください。

「それは私です」の入場に整理券を発行

①日時 八月十七日午後一時から
②場所 産業会館横仮設舞台前
③枚数 大人一人につき一枚(先着順)

当日のプログラムは、五時半に開場し六時から三十分間藤山一郎氏による『オリビックの歌』の歌唱指導七時から出演者を紹介し七時三十分から八時まで全国中継放送されます。放送終了後に佐川ミツオその他によるアトラクションが行なわれます。

とじこ保存しておいてください
つか役にたつことがあります

苫小牧発展の歩みの年表および市政の現況を図表化したパネル十数点を展示いたします。

- ①人口の推移 ②財政と市税 ③教育 ④産業 ⑤都市計画 ⑥上下水道 ⑦工業 ⑧社会福祉 ⑨保健衛生 ⑩交通 ⑪消防の市民生活

▽行先 勇払・弁天、ウトナイ、植苗、沼の端・静川、丸山・支笏湖、糸井・錦岡
▽出発時間 場所 二十一時十五分発、ホテルトマコマイ東側のりば

市営バスに乗車の場合 (お願い) は、回数券をご利用ください。

苫小牧90年の歩み

明治維新によって、えぞ(蝦夷)を北海道と改め、開拓使が札幌におかれまして。そのころのマチの中心は、勇払で交通、警備上の要地として開拓出張所もここに設けられました。当時の苫小牧市街は、せきばく荒りようの原野のなかに茶店出かせぎ七、八軒、明治四年でさえわずか六戸二十二人と記録されていますから、ずいぶん寂しいところでした。明治五年になり、札幌、函館間の新道が完成し勇払を経ることが不便となり、苫小牧(とまこまい)に開拓出張所が明治六年十月二十七日に移され、この日を開基記念日と定め本年が、ちょうどその九十周年に当たります。翌七年には、大小区制がしかれ、区役所となり八月十三日から苫小牧を苫小牧と書き改められました。居住者も次第に増加し、時の戸数二十八戸、人口九十八人とあります。明治九年には小学校、十一年には鹿肉かん詰所、警察分署等も設置され、さらに十三年になると勇払郡役所を、二十三年には一郡一村制による勇払各村長役場の所在地となり戸数も、二百六十五戸、人口九百八十五人を数え、ようやく当市今日の基礎を築くにいたりしました。その後、漁業不振、大火焼出、分村相次ぐ等の衰運の時代もありましたが、明治四十三年、王子製紙工場が操業開始されてからは、人口も急増し、紙のマチとして一躍全国に知られるに至りました。大正八年に町となり戸数三千三百九十三、人口一万二千八百八十人となりましたが、大正十年五月一日の大火によって、市街地の三分の一を失い、五千二百五十人の災害者をだしました。

大火復興の努力は、従来の懸案を解決して面目を一新しました。昭和にはいってからも、すでに「大重要案件」としての、勇払原野の開発、漁港修築運動を始めとして不断の努力を続け、順調な発展を遂げてまいりました。特に、二十三年四月一日待望の市制が施行されてからの十五年間の飛躍発展ぶりは、正に目をみはるものがあり、いちいち例をあげることができないほどりばになっております。人口も、二十六年には四万人、三十一年には五万人を越え、現在八万人に迫っています。

さらに、工場誘致をはじめ未開地の開発も急速に進展し新産業都市の指定も内定、昭和八年に試験工事からじまった港づくりの悲願も実を結び、二十六年には起工式を行ない、十二年目の本年四月には、感激の開港、入船の喜びを迎えることができたことは特筆すべきことであります。まさしく、青年都市、苫小牧こそ北海道のホープにして本道開発の拠点であり、先人の遺業をたてえつつ限りない前進を続ける、つかれを知らない偉大な若人ともいえましょう。

(市立図書館館長 小野慶郎)

この喜び、市民とともに

市長 大泉源郎

開港、開基九十周年、市制施行十五周年という、実に三つの記念すべき年を迎えたのであります。北海道の工業開発の拠点都市として目ざましく発展する本市



の今日を築いた幾多の諸先輩の苦難と偉業をしのびながら、市民みなさまとその喜びを分かち、前途を祝福できますことは、たいへん感慨深いものがあります。当市はここに、開基九十年、市制施行十五周年の記念すべき日を迎え、念願久しき開港を合わせ、祝福し盛大な式典、意義深き行事が催されますこと、市民各位と共にまことに同慶に堪えないところであります。

開港 開基90周年、市制15周年を迎えて

本市は、今や近代工業都市たるべく着々その体制を整えつつありますがこの進展の歴史を省みず、そこには先覚者の偉大なる業績がしのばれると共に当時の光景がほらふつされ

さらに一段の飛躍を

市長 藤原博弥



おわれ、

に多くを期待することはできませんが、用水に恵まれ、また支笏湖を中心とした天与の森林資源、さらに空知炭田を間近に控える立地か

ら工業地帯として躍進に躍進をつづけ産業基盤の整備拡充をはじめ、広域経済の伸長を促進する建設的諸政策の実現に努め、『工業都市苫小牧』をめざしてまい進しているのであります。

私が初めて市長の重責をになつてから、まだ日が浅いにもかかわらず、市民みなさまの暖かいご支援、ご協力により、ますます進展への基盤を固めつつあります。私は意義深い、この画期的な年を契機として、いっそう勇氣と信念をもって市民福祉の増進と市勢発展のため努力する決意を新たにしている次第です。

すなわちほらぶつたる五万町歩にわたる勇払原野の荒涼の中で厳寒に耐え、一歩一歩自然を克服して開拓生活を切り抜けて、今日の礎を築かれた先人開拓者のご苦勞こそ、誠に並々ならぬものであり、深く敬意を表すると共に感謝の誠を捧げらるるものであります。

ら工業地帯としての素地は充分にうかがわれるのであります。しかしして明治三十八年東洋一を誇る王子製紙工場の設置が決定され、これを契機として当市の一大発展がなされたのであります。

戦争を遂行しつつ市勢は進展の一路をたどり終戦後間もなく人口三万有余にして全道十三番目の市として仲間入りをしたわけでありましたが、それよりここに十五周年人口約八万を擁するに至り、しかも、長年の夢であり、熱望であった港湾築設も、地元国會議員はじめ学識経験者、その他各界有力者のご協力により、今春めでたく開港の運びとなり待望の石炭積出船が出入してありますが、なお今秋には雑貨埠頭の完成が予定され、いよいよ港灣の機能が充実され

90年間の人口の推移

年別	人口	摘要
明治6年	不明	10月27日開基記念日
明治7年	98人	
明治35年	2,041人	2級町村制施行
明治35年	9,357人	
大正7年	12,810人	町制施行
大正8年	13,647人	1級町村制施行
大正9年	17,706人	第1回国勢調査
大正14年	19,928人	第2回国勢調査
昭和5年	20,987人	第3回国勢調査
昭和10年	21,946人	第4回国勢調査
昭和15年	23,923人	第5回国勢調査
昭和20年	26,832人	人口調査(終戦)
昭和22年	30,760人	第6回臨時国勢調査
昭和23年	32,619人	市制施行
昭和25年	39,226人	第7回国勢調査
昭和30年	51,319人	第8回国勢調査
昭和35年	62,384人	第9回国勢調査
昭和37年	71,767人	住民登録(12月末日)
昭和38年	75,496人	住民登録(6月末日)

から工業地帯としての素地は充分にうかがわれるのであります。

戦争を遂行しつつ市勢は進展の一路をたどり終戦後間もなく人口三万有余にして全道十三番目の市として仲間入りをしたわけでありましたが、それよりここに十五周年人口約八万を擁するに至り、しかも、長年の夢であり、熱望であった港湾築設も、地元国會議員はじめ学識経験者、その他各界有力者のご協力により、今春めでたく開港の運びとなり待望の石炭積出船が出入してありますが、なお今秋には雑貨埠頭の完成が予定され、いよいよ港灣の機能が充実され

お知らせ

13日と16日運行

墓参りの臨時バス
市交通部では、お墓参りの臨時バスを、十三日と十六日の二日間、つぎのとおり運行いたします。

▽運行区間 駅前(緑方丘(旧墓地) 駅前) 高丘(新墓地)
▽運行時刻(両日とも) 旧墓地行き 前九(後四) 二十分(二十分) 新墓地行き 前七、後零時半、同三時

▽運賃 旧墓地 大人片道十五円 新墓地 大人片道二十円

あま茶の無料奉仕

緑町宗教学会では、ことしもまたウラ盆の十三日に、高丘墓地で會員一同が天茶(あま茶)の無料奉仕します。

13日夜、野外レコ公民館で

レコードコンサートは、野外レコードコンサートを十三日午後六時から市営球場で行ないます。夏の夜のひとときを、楽しい音楽を聞いてお過ごしください。よう、ご案内いたします。

市民税・道民税第二期分は今月中

市民税などを納められたでしょうか。八月三十一日が納期限の市民税・道民税(第二期分)をまだ納めていない方は、すぐ市役所(勇払出張所)か、近くの郵便局で納めてください。(徴収課)

てまいります。加えてまた北海道総合開発の一大拠点としてこのたび新産業都市に指定されましたこと、さらに一層の躍進が予想され重ねが喜びに堪えないところであります。しかしながら時代の流れは常に高度なるものを物心両面に求め、努力してまいります。祝福の言葉にかえる

ボーラ ほか九曲
☆第三部 新作特集 『狂ったバカンス』 ほか四曲
☆第四部 民謡をたずねて 『北海盆うた』 ほか五曲
部活の無料市保健課では、回健康相談 市内の医療機関の協力により、つぎの日程で無料巡回健康相談を行ないます。仕事のあいに、おさそい合わせのうら、気軽においでください。
▽19日 丸山小学校(丸山地区) 山本病院医師 21日 糸井金館(糸井地区) 市立病院医師 22日 樽前小学校(樽前地区) 小林医院医師
時間はいずれも午後一時半から三時半までです。

転入申告書を切取って

20日までに
市民生課へ
炭鉱離職者と産炭地転入者へ

炭鉱離職者と産炭地転入者は申告書をご提出願います。この申告書により炭鉱離職者、産炭地からの転入者の実態をよく調査しこれらの方がたに対する施策の樹立に役立てようとするものです。すなわち、本紙に刷り込んである申告書に切り取って記入し、二十日までに市民生課に提出してください。

▽申告書を出しただけでは炭鉱に働いていたが企業整備により離職して、または炭鉱不況を見通して退職し当市に転入した方
(炭鉱離職者)

②産炭地に居住し炭鉱以外の職を得ていた方で、炭鉱の不況によりその職が思わしくなく当市に転入した方(産炭地転入者)

この調査は、現在職のあるなしにかかわらず、学校、道路、保健、衛生各般にわたり施策の資料とするものです。すなわち、数年前からの転入者もこれなく申告してください。

北海道社会福祉大会



八月一日から苫小牧市高体育館などで行なわれた第十三回北海道社会福祉大会は、道内市町村の民生委員や社会福祉事業関係者など約一千五百五十人が参加して三日、盛大のうちに終

了しましたが、第一日の開会式に表彰された苫小牧市関係者はつぎのとおりです。

▽知事表彰(社会福祉事業功労者) 村上齊さん(三) (樽前)

▽知事表彰(里親) 若名秀春さん(旭前)

▽道社会福祉協議会会長感謝状(民生委員・児童委員) 一矢島浪江さん(四)

村上さんから三人表彰

盛大だった全道社会福祉大会

表彰された苫小牧市関係者はつぎのとおりです。

▽知事表彰(社会福祉事業功労者) 村上齊さん(三) (樽前)

▽知事表彰(里親) 若名秀春さん(旭前)

▽道社会福祉協議会会長感謝状(民生委員・児童委員) 一矢島浪江さん(四)

篠田さんご苦勞

さま(感謝パティー)

苫小牧市、同市議会、同商工会議所、同工業港促進期成会共催の篠田自治大臣退任感謝パティーは、三日午後三時からホテルトマコマイ五階大

ホールで、篠田氏夫妻を招いて盛大に行なわれました。地元はじめ、千歳、胆振管内各町村の関係者など約四百人が集まり、昨年七月大臣就任に際しての国政のため、地方自治のため、献身的に尽力して多大な功績を残し、去る七月池田内閣の改組で退任した郷土出身の篠田前自治大臣の労をねぎらい、謝意を表しました。

野大狩13日から

市では十三日から三十一日まで全市にわたり強力に野大狩を行ないます。奮力は必ずつないでください。



勝山市区画整理課長
市開発計画部区画整理課長勝山正三さん(四九)写真IIは、七月三十一日午後二時十五分脳出血でなくなら

た。爾来、財政課税務係を振出しに産業課水産係主任、水道課庶務係長、産業課農産開拓係長を歴任、三十年七月には保健課長に抜てきされ、さらに三十五年一月農林課長(農委委員事務局長兼務)三十八年七月十日区画整理課長など、勤続十六年十月に及びました。この間、保健課にあっては、昭和三十四年全国的に流行したジフテリアの予防に努め、わずかに七名の患者を出したにすぎず、また近代機械設備をもつ食肉処理場建設に貢献しました。農林課にあっては、農事振興、畜産の改良増産や農業団体の指導、育成強化に尽くした業績は高く評価されており、心からごめい福をお祈りいたします。

転入申告書

炭鉱離職者
産炭地

現住所						
本籍地						
前住所						
転入年月日	前職業					
転入者	氏名	男女別	続柄	生年月日	現職業	備考
前住所に残っている者	氏名	年齢	事由			

- ① 下記のどれかに○印をつけて下さい。
炭鉱離職者 産炭地転入者
- ② 現在当市にいる方で学校に行っている人は現職業のところに学校名を記入して下さい。
- ③ 失業保険を受給している人は備考のところに『失保』と記入して下さい。
- ④ 高校生の家族で当市に転入できないため前住地に残って通学している人があれば学校名を事由のところに記入して下さい。

